

令和2年度第3回図書館協議会議事録

1 開催日時 令和2年12月19日(土) 午前10時～12時

2 開催場所 浦安市立中央図書館2階 視聴覚室

3 出席者

(委員) 押樋委員長 本多副委員長 梨本委員 高橋委員 高倉委員 小松原委員
西村委員 松本委員 遠藤委員 伏見委員

(事務局) 生涯学習部長 生涯学習部次長
中央図書館長 中央図書館副館長 総務係長 レファレンスサービス係長
図書資料第2係長 総務係司書

4 傍聴人 2人

5 議題

報告事項

- (1) 令和2年度上半期利用統計及び事業報告について
- (2) 令和2年度図書館自己点検評価について
- (3) 令和2年度蔵書点検について
- (4) 決算委員会について
- (5) その他

6 議事の概要

報告事項

- (1) 令和2年度上半期利用統計及び事業報告について、事務局より報告を行った。
- (2) 令和2年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。
- (3) 令和2年度蔵書点検について、事務局より報告を行った。
- (4) 決算委員会について、事務局より報告を行った。
- (5) その他

集会事業の実施状況について、事務局より報告を行った。

7 会議経過

報告事項

- (1) 令和2年度上半期利用統計及び事業報告について、事務局より報告を行った。
その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(意見) 統計数値については、今年度はコロナウイルスの影響、昨年度は中央図書館が工事

で休館しており、例年以上に統計的な比較がしづらくなっていると思う。この2、3年は特別な年となるのではと感じる。

(意見) 数字が落ち込んでいる理由が特殊な事例であることを、今後のためにも「図書館概要」などにはわかるように記載しておくことが重要である。

(意見) 全国の図書館が同様の問題を抱えている。浦安市の図書館が全国の図書館の参考となるようなわかりやすい統計となるよう心掛けてほしい。

(意見) 4～5月にかけてどこの図書館も休館し、どれだけ不便であるかが身に染みた。今後は全面休館だけは避けてほしい。新型コロナウイルスとのつき合い方も当時よりはわかってきたので、新聞や雑誌の閲覧と予約資料の受け取りに限定する、書架の通路を一方通行にするなど新しい開館方式を考えておいてほしい。

(意見) 全館休館中、市民がどう困っていたか、本が借りられないだけなのかなど意見を吸い上げておいてほしい。

(回答) 市では政府の緊急事態宣言を受け休館をした。その後は徐々に開館状況に戻ってきたところである。市の方針としては、今後は全面休館を行わない方向だが、市民にも新しい生活様式にご協力いただきながら開館を続けていきたい。

(回答) 休館時にいただいた意見は記録しており、今後の参考にしていきたい。

(意見) 読書会によっては活動を続けていくことが難しくなっている。広報等の支援をしてほしい。

(回答) 広報については制限もあるが、今後調整させていただきたい。

(意見) ピンチをチャンスに変えるいい機会である。貸出冊数を競うだけでなく、尺度を変えてみてほしい。市単位だけでなく、東葛飾地域の図書館としてのあり方、大学図書館を含めた連携など新しいことを考えてみてはどうか。

(意見) 学校図書館とは真逆で、市立図書館は季節が感じられて読みたい本が読める場所、異空間としての魅力がある。電子書籍は自分一人の世界を楽しむもので、図書館の楽しみ方とは別のものであると考え。

(意見) 浦安市の図書館はそうでないが、公共図書館は一般的に季節性、催事性、時事性がない。展示などを通してもっと発信してもよい。クリスマスやハロウィンを扱うなら四大宗教をはじめ定例的な催事を平等に扱う必要があると考える。

(質問) 読書通帳の配布目的は。

(回答) 子どもたちの読書活動を推進することが目的。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため遅れたが、6月より本格的な利用を開始した。8月からは学校図書館で借りた本も印字できるようになった。登録は13%程度だが、2冊目に入ったというヘビーユーザーもいる。市立図書館の利用を促すという目的を果たしていると考えている。

(意見) 文字に触れる楽しさにつながるという意味で読書通帳はいい取り組みである。

(質問) 蔵書の検索に傾向はあるのか。

(回答) 検索している内容は細かくはわからない。よく使用されているのは新着図書の検索である。件数が増えているのは、昨年度は工事期間中で、ほとんどの蔵書を倉庫に預けており、検索対象となっていなかったからと思われる。

(意見) 数字だけではなく、傾向の分析が必要。図書館での展示や企画を行う上で、検索についての傾向がわかれば参考になるのではないかと。また、蔵書を購入する際の参考にもなる。

(意見) 読書通帳はそこに記帳すること自体が目的とならないようにすべきである。

(意見) 記帳することが、まずは図書館へ来館するきっかけとなればよいのではないかと。

(意見) 通帳の寄附が終了しても市の事業として続けていかれるかが懸念される。ぜひ、続けて行ってほしい。

(2) 令和2年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。

意見(質問)はなし。

(3) 令和2年度蔵書点検について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(質問) 借りたままになっている本はどういう扱いなのか。

(回答) 返却期限が過ぎている場合は、電話やメール、はがきにより段階的に督促をしている。

(質問) 紛失よりも借りたまま返さない人のほうが多いのではないかと。

(回答) 返却期限を95日以上過ぎると新たな貸出ができなくなるため、借りたままという事例は多くはない。

(4) 決算委員会について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(意見) 中央図書館の改修後は、浦安公園との一体感が出て、親子連れも多く、親しみやすい環境となった。

(質問) イベントの実施に対しての浦安市の方針、図書館の判断はどうなっているのか。

(回答) 市としては政府の指針をもとにしており、各施設ではそれぞれの上位団体で行われた実証実験等に基づいた基準に合わせて対応している。

(5) その他として集会事業の実施状況について、事務局より報告を行った。

意見(質問)は特になし。

以上